

作成番号:0237

=====

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

=====

号数:2025-237

内容:早期初潮がうつ病と関連がある

出典:Is early menarche related to depression? A meta-analysis.

Journal of affective disorders. 2024 Oct 09;369:508-515. doi: 10.1016/j.jad.2024.10.036.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39393462/>

思春期は情緒が不安定になりやすい年代で、初潮とともにエストロゲンと呼ばれる女性ホルモンの分泌量が急激に増加しますが、ホルモンを分泌する卵巣が未成熟なのでホルモンバランスを崩しやすく、それがうつ病発症の一因と考えられる。早期初潮とうつ病との関連性を明らかにするため、中国・北京師範大学の研究者らは、システマティックレビューおよびメタ解析を実施し、Journal of Affective Disorders 誌オンライン版 2024 年 10 月 9 日号に報告した。

2024 年 6 月 17 日までに公表された研究を複数のデータベースより検索し 22 研究の 87,798 例をメタ解析に含めた。早期初潮群は、非早期初潮群と比較し、うつ病スコア(標準平均差:0.13、95%信頼区間[CI]:0.04~0.21)、うつ病発症率(オッズ比:1.37、95%CI:1.23~1.52)が有意に高かった。

著者らは「早期初潮とうつ病との関連が明らかとなった。両親、学校、医療者は、より早期に初潮を迎えた女兒のメンタルヘルスを注意深くモニタリングする必要がある」と結論付けている。

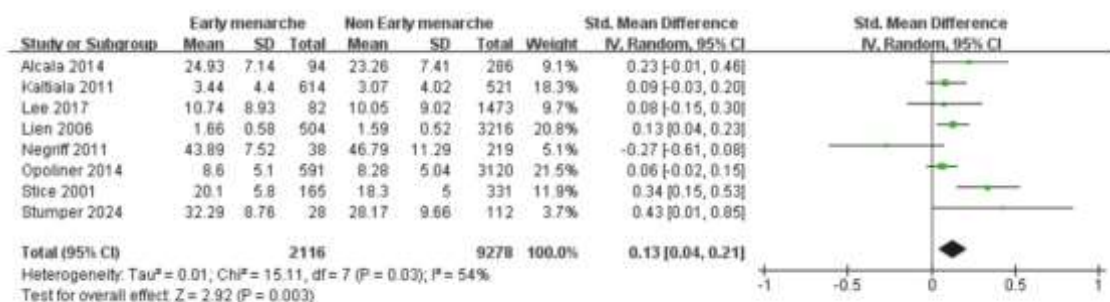


Fig. 2. Forest plot of studies on early menarche and depression scores.

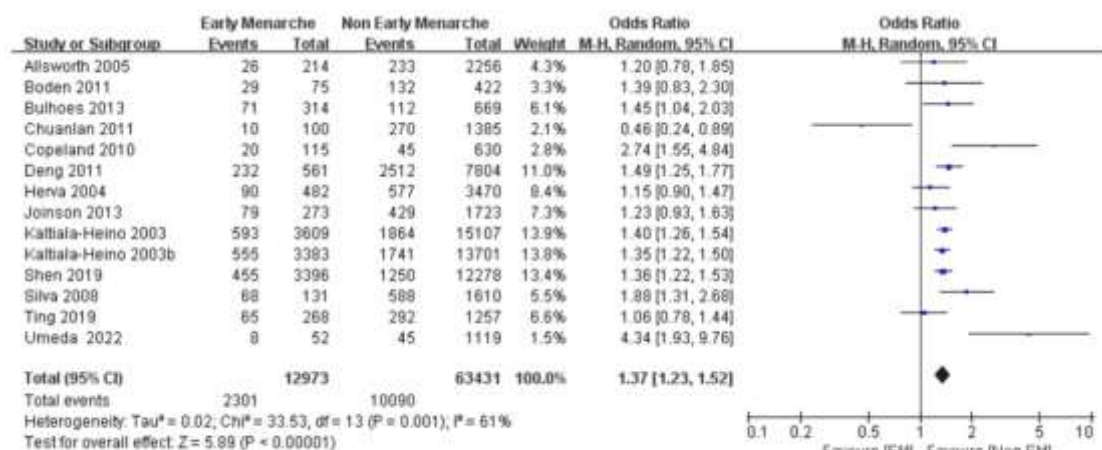


Fig. 3. Forest plot of studies on early menarche and depression rates.